

「関東甲信越高校生溶接コンクール」

「第11回関東甲信越高校生溶接コンクール同時開催北陸高校生溶接コンクール」が4月24日、コベルコ溶接テクノ溶接研修センター（神奈川県藤沢市）で開催されました。関東甲信越地区から13校16選手と北陸地区から3校3選手をあわせて19選手が出場し、日頃の練習の成果を競い合いました。

審査の結果、本校から出場した工藤成選手が191点（200点満点）で全出場選手の中で3位（優秀賞）に輝きました。また、中西嵩選手は優良賞枠（5名）に入り表彰を受けることができました。

競技課題は「N-2F」（被覆アーク溶接、中板9ミリ裏当て金無し、下向突合せ継手）で、最終層は競技材の指定範囲内でビードを継ぐことが要求されます。その中で、外観試験や超音波探傷試験などを細かく減点法で採点し審査します。

この11回大会は、昨年、コロナ禍の影響で中止となりましたが、北陸地区大会も含めた今大会は初開催となります。工藤成選手は、総合順位から北信越ブロックで「優勝」となり、11月13日に開催予定の第21回高校生ものづくりコンテスト全国大会にエントリーが決まりました。

大会の開催にあたっては、コロナ対策として開・閉会式の省略、関係者を含めた来場人数の制限、当日の健康チェックシートの提出、控室の人数規制や体温検査など感染防止対策を徹底して行いました。

大会の主催は東部地区東部地区溶接協会連絡会、共済は日本溶接協会東部地区溶接技術検定委員会、北陸地区溶接協会連絡会、関東地区工業高等学校長会、北信越工業高等学校長会です。



新津学校長より表彰される3年生2名の選手



被覆アーク溶接に集中する生徒（12/5県大会より）